

2023年11月21日

各位

会社名 ライフネット生命保険株式会社  
代表者名 代表取締役社長 森 亮介  
(証券コード:7157 東証グロース市場)

### 第3回 LGBTQ 当事者の意識調査 ～いじめ被害やカミングアウト、同性婚等に関する声～ 宝塚大学看護学部日高教授への委託調査

ライフネット生命保険株式会社 (URL: <https://www.lifenet-seimei.co.jp/> 本社: 東京都千代田区、代表取締役社長: 森亮介) は、レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー等のセクシュアルマイノリティ(以下、LGBTQ)に関する調査を宝塚大学看護学部の日高庸晴教授に委託し、2022年12月1日～2023年4月21日の期間、LGBTQ 当事者 10,449名を対象に実施した「第3回 LGBTQ 当事者の意識調査」の結果について、その概要をお知らせします。

当社は2015年11月4日に、同性のパートナーを死亡保険金の受取人に指定可能とする取扱いを開始して以来、LGBTQ 当事者の意識や日常生活における困りごと等に関する理解に努めるとともに、社内外におけるダイバーシティ推進や啓発活動を行ってまいりました。

当調査は、当事者に寄り添ったサービス提供および世の中の LGBTQ への理解促進を目的に、宝塚大学看護学部日高教授に委託し実施したもので、2019年に実施した[第2回 LGBT 当事者の意識調査](#)の後続調査となります。今回は、世の中の変化や学校・職場環境といった、これまで継続的に調査してきている内容だけではなく、全国で広がりつつある同性パートナーシップ宣誓制度や同性婚について当事者が抱く意識についても調査しました。なお、当社は調査結果の集計にあたって、個人情報保護の観点から、調査結果解析後のデータの一部を使用しています。

#### ■調査結果概要■

#### LGBTQ 当事者の意識調査～いじめ被害やカミングアウト、同性婚等に関する声～

##### 【同性パートナーシップ宣誓制度・同性婚】

- ◆ 当事者の68.6%が、「同性婚を法律で認めてほしい」と回答。10代では85.1%、20代では77.8%が同性婚の法制化を望んでいる
- ◆ 同性パートナーシップ宣誓制度をすでに利用している人の91.5%が、「同性婚を法律で認めてほしい」と回答
- ◆ 当事者の中での同性婚訴訟の認知度は、66.5%(初調査)
- ◆ 同性婚を認めてほしい理由で多いのは「社会保障や税制上の不利益の解消のため」「平等な社会の実現のため」「診療場面で家族と認めてもらうため」(初調査)

**【学校生活】**

- ◆ 10代当事者の38.8%が、「いじめ被害の経験あり」と回答(2016年調査49.4%、2019年調査47.4%)
- ◆ いじめ被害経験者およびネガティブライフイベント経験者<sup>\*3</sup>のうち、68.6%は「自身のいじめ被害を知っている人・目撃している人がいた」と答える一方(2019年調査<sup>\*4</sup>76.9%)、「助けてくれる人・かばってくれる人がいた」と答える割合は26.6%に留まる(2019年調査36.7%)
- ◆ 当事者の24.2%が「特に用事がないのに保健室へ行ったこと」があると回答。10代当事者では32.9%と若年層であるほど割合が高くなる

**【職場環境】**

- ◆ 当事者の69.9%が、「職場や学校で差別的な発言を見聞きした経験がある」と回答(2016年調査71.7%、2019年調査79.6%)
- ◆ 職場や学校で友人や同僚にカミングアウトしている人の割合は28.1%(2016年調査27.7%、2019年調査31.9%)。10代は40.1%がカミングアウトしているが、50代以上では16.0%の割合となった
- ◆ 職場や学校で一番初めにカミングアウトした年齢の平均は24.3歳
- ◆ カミングアウト率が高いのは、トランスジェンダーやレズビアン  
カミングアウト率が低いのは、ゲイやバイセクシュアル男性

**【その他】**

- ◆ 当事者のうち71.5%がSNS等で「1年以内にLGBTQに関して差別的な発言を見聞きしたことがある」と回答し、10代の当事者では85.5%にのぼった(初調査)
- ◆ 当事者の27.9%が親へのカミングアウトをしている(2016年調査22.0%、2019年調査26.9%)
- ◆ 当事者の21.7%が、「アウトイングされた経験がある」と回答(2019年調査25.1%)  
いずれのセクシュアリティにおいてもアウトイングされた経験があることがみられたが、トランスジェンダーにおいてはより顕著な結果になった
- ◆ MTF<sup>\*1</sup>の33.8%、FTM<sup>\*2</sup>の43.7%が、「体調不良でも医療機関に行くことを我慢した経験がある」と回答
- ◆ 当事者の20.4%がひきこもりの経験があると回答(初調査)

\*1 Male to Female の略。男性として出生し、性自認が女性

\*2 Female to Male の略。女性として出生し、性自認が男性

\*3 ネガティブライフイベント経験者は、学校生活(小・中・高)で「持ち物を隠されたり、壊されたりしたこと」、「『女(男)らしくない』『おかま』『ホモ』『レズ』などといわれたこと」、「無視や仲間はずしにされたこと」、「なぐる、蹴る、大声でどなる、おどすなどの行為をされたこと」、「無理やり服を脱がされたこと」、「インターネットやSNSでいやがらせをされたこと」を経験したと回答した人

\*4 2019年調査では「いじめ被害経験者」のみを対象

本リリース内容の転載に際しては、「宝塚大学看護学部日高教授 第3回LGBTQ当事者の意識調査(ライフネット生命委託調査)」とご記載ください。その他調査結果や詳細・取材申し込みは、宝塚大学看護学部日高教授([hidaka-office@takara-univ.ac.jp](mailto:hidaka-office@takara-univ.ac.jp))までお問い合わせください。

ライフネット生命について URL: <https://www.lifenet-seimei.co.jp/>

当社は、「正直に経営し、わかりやすく、安くて便利な商品・サービスを提供することで、お客さま一人ひとりの生き方を応援する」という経営理念のもと、インターネットを主な販売チャネルとする生命保険会社です。デジタルテクノロジーを活用しながら、保険相談、お申し込みから保険金等のお支払いまで、一貫してお客さまの視点に立った商品・サービスの提供を実現するとともに、オンライン生保市場の拡大を力強く牽引するリーディングカンパニーを目指します。

会社および商品の詳細は <https://www.lifenet-seimei.co.jp/> をご覧ください。  
株主・投資家向けの情報は <https://ir.lifenet-seimei.co.jp/ja/> をご覧ください。

本件に関するお問い合わせ先  
広報／IR 03-5216-7900